

会 議 録

1 会議名

平成30年度 第8回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

○自主的審議事項について

- ・自主的審議事項検討部会での検討経過並びに検討結果について
- ・地域を元気にするために必要な提案事業 事業提案書・事業概要書について

(2) 報告事項（公開）

- ・東北電力(株)送電線新設工事に係る今後の予定について

(3) その他（公開）

3 開催日時

平成30年10月18日（木）午後6時30分から午後7時40分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：井部辰男（会長）、関川正平（副会長）、石野敏、上村閨一、笠原昇治、佐野喜治、西巻肇、芳賀芳明、橋本博太、望月博、山本光夫、山本誠信、横山一雄（委員16人中13人出席）
- ・東北電力(株)：佐藤部長、友田主査、佐藤担当、長谷川副長
- ・河川海岸砂防課：梅澤課長、上村係長
- ・事務局：頸城区総合事務所 橋立所長、石野次長、八幡市民生活・福祉グループ長、稲田教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ村山班長、田中主査、古川主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容

【石野次長】

- ・ 会議の開催を宣言

【井部会長】

- ・ 挨拶

【石野次長】

- ・ 佐藤委員、船木委員、望月委員の欠席を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 会議録の確認：佐野委員、関川副会長に依頼

【井部会長】

報告事項「東北電力（株）送電線新設工事に係る今後の予定について」

（東北電力 佐藤部長、友田主査、佐藤担当、長谷川副長、河川海岸砂防課 梅澤課長、上村係長入室）

【佐藤部長】

- ・ 挨拶

【長谷川副長】

- ・ 挨拶

【友田主査】

- ・ 資料No.3の1枚目について説明

【長谷川副長】

- ・ 資料No.3の2枚目について説明

【井部会長】

委員に質疑等を求めるがなかったので、報告事項を終了。

（東北電力 佐藤部長、友田主査、佐藤担当、長谷川副長、河川海岸砂防課 梅澤課長、上村係長退室）

引き続き、協議事項「自主的審議事項について」に入る。

この件に関しては、8月31日に開催した第7回地域協議会において、地域を元気にするために必要な提案事業ということで、部会を設置して絞り込み、概要を全体会に出すということで進めてきた。

産業部会上村部会長から検討された経過と絞り込んだ概要について説明を求める。

【上村委員】

前回の地域協議会の中で産業部会に絞り込みをという提案があり、会長、副会長からも助言をいただきたいということで部会に参加していただいた。

第1回は9月19日に開催し、いろんな意見交換をしたがご承知の通り今回元気の出る事業でいこうということだった。頸城区観光協会がNPO法人になるということで主体的にはそこで取り組んでいただけるということをもとに議論した。議論については、資料No.1の9月19日の部分が具体的な内容である。

特に大正山の整備については、明治地区振興会があるので、そこを軸としながら頸城区全体のボランティア等を募っていったらどうかということであった。15町内の町内会長が理事ということもあるので、声掛けをしながらそこを軸としていこうと意見交換をした。

第2回は地元の石野委員、西巻委員からオブザーバーという形で加わっていただき、10月2日に開催した。関係する行政4課から来ていただき、特にビジターの所管である農村振興課、全体を網羅している観光振興課とも忌憚のない意見交換をした。

- ① ビジターセンターの観光施設としての利用促進
- ② 大池第3キャンプ場の駐車場の拡張
- ③ 小池周辺の桜の整備
- ④ 大池・小池の釣り並びにキャンプ場利用の有料化と管理事務所の設置
- ⑤ 大正山の整備等
- ⑥ 雁金城跡周辺の整備は、地域活動支援事業費で行ってきたが、危険箇所については行政にお願いしたい。

意見交換の内容については、資料No.1の10月2日の意見交換という所で細かく記載している。2回の意見交換会を終了して、最終的には部会として会長、部会長、事務局に文言の整理を一任し、地域を元気にするために必要な事業提案書という形でまとめた。

【井部会長】

引き続き、事務局より説明を求める。

【村山班長】

・資料No.2 について説明

【井部会長】

この内容でということになれば、市長に提案をするという段取りで進めていきたいので、皆さんの意見を聞かせていただきたい。

【橋本委員】

⑤大正山の整備について、地元受け皿という所があって玄僧の町内会をどういう趣旨で入れたのか。町内会の調整はまだやっていないと思うが、突然名前が出てくると町内会もびっくりすると思うので、明治地区振興会を受け皿にすればどうか。

【井部会長】

その件については、先ほど上村委員から発言があったように明治地区振興会が受け皿としてまず受ける。具体的に事業を展開する時等においては、周辺の町内会にお願いすることもある。基本的には明治地区振興会という論議がこれまでの部会の中の内容である。

【上村委員】

受け皿として、大正山は大蒲生田、玄僧、日根津。大池は花ヶ崎という話もあったが網羅するのは明治地区振興会だろう。論議の中では明治地区に縛ることなく、実際運営していく時には頸城区全体に声掛けをする。

【橋本委員】

個別の町内会ではなく明治地区振興会という名前は使うわけにはいかなかったのか。資料No.1の黄色の部分は決定なのか理解していないが。

【上村委員】

黄色の部分は経過である。橋本委員が言われるように、それではまずいだろうということで議論をさせていただいた。

【橋本委員】

総意であれば、どこの町内会も反対することなく協力できると思う。

【井部会長】

他に質疑等を求める。

【西巻委員】

受け皿としては、明治地区振興会が良いと思い賛同意見を出した。ただ最終的にボランティアを集めるということになると、くびき振興会から発信していくと全区の皆

さんをお願いをできるのではないかと。実施部隊は明治地区振興会で良いと思うが、くびき振興会に限らず全区的なところで1回話をさせていただいて次に続けるような方法を取っていただければいいのかと思う。

【井部会長】

事業展開をしていく段階でそういうご意見も大切にしたいと思う。観光協会も同じような受け皿としてあるので、どちらでやるかはこれからの事業展開だろうと思う。今年約1年間かけて、正式に言えば3年越しで頸城区においては2回目の元気の出る事業について絞り込みをしてきた。

特段、意見がなければこの内容で市の方に提出をしたいと思うが異議はないか。

【全委員】

異議なし。

【井部会長】

異議なしであるので、先ほど村山班長が朗読をした事業概要の経過、それから前段の文章、具体的な事業概要について6項目の内容について朗読した通りの内容で市長の方に提出していきたい。

以上で自主的審議事項を終了する。

【石野次長】

- ・第9回地域協議会：11月下旬

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなし。
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線212）

E-mail：kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。